協調會常務理事　町田辰次郎氏

4. 戰時勞働問題に就て
　協調會常務理事　長岡保太郎氏

5. 所　感
　社會局勞働部長　成田一郎氏

（晝　食）

6. 軍需工業動員に就て
　海軍省軍務局海軍中佐　勝田治夫氏
　陸軍省整備局步兵少佐　岡田菊三郎氏

7. 懇談內容

戰時に於ける社會管理及勞働時間問題並に應召猶豫等の問題について種々意見の交換があり、更に、工場の設備及機能に適合せる註文を發せられ度しとの軍當局に對する希望等續出し、盛んに質疑應答並に意見の發表があり種々懇談して多大の効果を收めた。

大阪地方役員懇談會

十月二十六日午前十一時より同午後二時半迄、大阪市新大阪ホテルに於て午餐を共にしながら、勞資關係の調整と協調會の新時代に於ける使命等につき忌憚なき意見の交換を爲した。

出席者氏名（順序不同）

役員側

小畑源之助氏、中山太一氏、栗本勇之助氏、片岡安氏、安宅彌吉氏、池田淸氏、坂間棟治氏、淺田平藏氏、森平兵衛氏、榎並充造氏

協調會側

河原田稼吉氏、町田辰次郎氏、長岡保太郎氏、長谷孝之氏、松村勝治郎氏、藤澤朝世氏、秦野正勝氏、外一名

中部地方事業主懇談會

戰時に於ける産業勞働問題解決の目的を以て開催されたる中部地方事業主懇談會は、非常な成果を收めて左の如く擧行された。

一、日　時　十月二十八日午前十時半―同午後四時半

一、場　所　名古屋市公會堂

一、出席者　陸軍造兵廠名古屋工廠長木造少將並に名古屋海軍監督官事務所監督長杉山少將外陸海軍監督作業廳關係官、及各縣廳關係官並に愛知長野、岐阜、富山、三重、靜岡の各會社工場の社長其他約二百名

一、懇談會次第

1. 開會の挨拶
　協調會名古屋出張所長　大澤逸策氏

2. 非常時と産業平和
　協調會常務理事　町田辰次郎氏

3. 戰時勞働問題に就て
　協調會常務理事　長岡保太郎氏

4. 戰時勞務管理の重點
　協調會參事　長谷孝之氏

（晝　食）

5. 軍需工業動員に就て
　海軍省軍務局海軍中佐　勝田治夫氏
　陸軍省整備局步兵少佐　久保滿雄氏

6. 懇談內容

軍需工業動員を中心として懇談が進められたが、愈々動員法が施行された場合勞務管理は如何なる關係に置かれるか、又は應召猶豫、傷痍兵の待遇、軍需工場に對する合理的な用命、職業紹介所の機能と緣故募集の關係、職工爭奪防止、勞務者教育等の各種の問題に對する質疑應答並に意見の發表あり、且つ中部地方勞務管理研究會設置につき斡旋の勞を協調會に於て執られ度し等の希望が出て極めて活潑なる懇談が進められた。

7. 閉會の挨拶
　協調會常務理事　町田辰次郎氏

名古屋地方役員懇談會

十月二十八日午後六時より同八時まで、名古屋市商工會議所樓上に於て開催された。定刻になるや町田、長岡兩常務理事より、挨拶を兼ねて時局に對する協調會の方針を說明し、次いで晩餐を共にし種々懇談を重ねた。

出席者氏名（順序不同）

役員側

田中廣太郎氏、靑木鎌太郎氏、廣瀨實光氏、大隈榮一氏、土屋富五郎氏、三輪常次郎氏、高松定一氏、山口十一郎氏、藤岡兵一氏、神田純一氏、杉山俊亮氏、永井浩氏

協調會側

町田辰次郎氏、長岡保太郎氏、長谷孝之氏、大澤逸策氏

名古屋地方勞働團體懇談會

十月二十九日正午より同四時半迄、名古屋市千代田ビル樓上中央亭に於て、勞働團體幹部山崎常吉氏、西浦宇吉氏等約三十名、其外愛知岐阜兩縣の特高及工場課長等列席し、協調會側より町田、長岡兩常務理事、長谷參事、大澤出張所長等出席の上開催された。最初に大澤出張所長開會の挨拶をなし町田常務理事より所感を述べて晝食を共にし、其後長岡常務理事より一場の挨拶をなして懇談に入り、各自忌憚なき意見の交換をなした。

懇談概要

今回行はれたる名古屋市々會議員の選擧に對する批判より出發して、政治運動、勞働運動に對する各幹部の忌憚なき意見の交換をなし、更に荒川愛知縣工場課長の時局對策勞資整調案及協調會の産業平和の具體方策等につき質問あり、之に對し荒川課長、町田常務理事より夫々應答して、頗る眞劍なる懇談を爲した。

（藤澤）

晩　秋

○

事變で親類知己を失くして居る人も尠くはあるまい

念佛を申すだけ敷く薄哉　一茶

秋風一陣亦一陣

散る薄寒くなるのが目に見ゆる　一茶

郊外は滿目蕭々の秋、思ひを支那の戰場に馳すれば男子と雖も胸傷まざるを得ない

秋の原知つたら何ぞ歌ふべき　一茶

○

時雨そぼそぼと降り來たる

夕鳥一羽遲れて時雨けり　子規

人生無常、大いなる運命のまゝに流る

西吹けば東に溜まる落葉かな　子規

皎々たる月下の散策、轉た感慨に堪えざるものあり

枯葉鳴る櫟林の月夜かな　子規

○

嗚呼、昭和十二年の秋も逝かんとするか

人聲や此の道返へる秋の暮　芭蕉

此の道や行く人なしに秋の暮　同

戰後の重大性と其對策

協調會總務部　山崎重二

武力政策の後に來るものには思想であり、精神的侵略である。直接的侵略もあり、間接的侵略もあるが、その受くる影響は一國の滅亡にも關係する。世界大戰に於けるドイツ、オーストリーの如き彼等が如何に勇猛にして各國におとらぬ、優秀なる兵器を有しながら何故に慘敗の憂目を見たか、勿論、食糧の不足困難等の經濟的缺乏、人員の不足等はあるであろうが、先づ第一番に擧げなければならないのは、赤化思想の侵入即精神的侵略の爲に、後方攪亂の痛事を受けたからである。

彼等は國家の爲、皇帝の爲に身命を賭して戰つた。然しながら、戰爭の長引くのにつれて、彼等の精神に動搖を來たし、生活に不安を生じた。時あたかも、ロシヤ革命の焰は、猛烈に上り世界各地に廣がり、戰時の痛事に喘いでゐた國民の血深く流込み、遂にドイツ革命を起して、カイゼル皇帝追放と迄致つたのである。敗北の國程みぢめな慘たるものはない。

思想的對策

幾年か、彼等は死ぬ樣な苦しみをした。今日、陸々として、立つ事の出來得たのは夙に、不撓不屈のドイツ魂があるばかりでなく、思想的統一を計り、國民一致協力して防共に務めた結果、今日見るが如き洋々たるドイツ聯邦を作り上げたのである。

或は我が日清日露戰役當時に於ける我が國民の狀況を見るに、熱誠亦熱誠緊張亦緊張、熱と力と意氣が擧國一致の精神となつて表はれ國民が一丸となつて戰爭に當つてゐる故、浮華懶惰もなく、階級的爭鬪もなければ思想的侵略もなかつた。

物質的對策

然し戰爭には前哨として物價騰貴が招來するもので日清日露に於ても物價騰貴を來たし國民生活に不安を與へたが、擧國一致の精神と政府の之が對策とが一致し緊張裡の中にすぎたが、戰後國民の遊綴せる精神と物質的に階級を生じ一夜成金の續出とによつて、俄然階級的爭鬪を生じた。明治三十年明治四十年に於ける勞働爭議の勃發、歐洲大戰後大正九年に於ける深刻なる爭議等、戰後の對策が如何に重大なるかは、過去の歷史が質に物語つてゐる。

近くは今支那事變に於ける英國蘇國の行動、彼等は何故に支那に對して武器の補給その他をなしてゐるか。

武器補給による些少の利益よりも、もつと大きな思想的侵略を目指してゐるのである。飛行機三臺に對する思想犯人一人の釋放あり北支、南支に燃えあがる赤化思想は何を意味するか、危いかな東亞の狀態、隣國支那は自己の蒔いた種に自分の身を燒く、事變後に於ける支那四億の民は如何にせん。

事局の重大性

今事局は益々擴大され支那一國に留らず背後に働く諸外國の魔手が如何に動くか微妙な世界の視聽が支那を中心として澎湃として起りつゝあるのである。

ソ國に於ては歐洲大戰後赤化思想排斥を目的としつゝ、陸々として發展して來たドイツ聯邦の爲に、ヨーロッパに出る機先を制せられて、出る道を防がれ、再び南下政策をとり外蒙古を赤化し、進んで新疆を手中に收め、支那を併呑せんとしたのである。この爲には內助的に武器の補給、物質の援助をなして思想的侵略を目指したのである。亦英國の如きは、日清戰爭以後香港を租借し、對支貿易によりて利益を獨占し莫大なる資本の注入をなして、將來の畫策となしたのであるが、近來頓みに對支貿易が奮はなくなり、今日では、對支貿易は第一位をアメリカに奪はれ、第二は日本品の進出によつてとられ、第三はドイツの躍進的貿易の爲に奪はれ、英國は四番目におとされ、英國そのものの老年期を感じたのでこれを挽回せんとした、時あたかも支那の侮日抗日日貨排斥運動が起つたので、好機到れりと、支那に對して、幣制改革、武器の補給、資本の注入等をなして對支貿易を挽回し、合せて東洋に進出せんとした。佛國に於ても英國ソ國の如く積極的ではないが、少からぬ野心をもつてゐる事は事實である。亦アメリカに於ても、對支貿易が日本に壓迫されつゝある現狀を顧りみて、これまた何とかして、日本を抑へつけ、對支貿易を維持し、利益を獨占せんと、現在は中立的態度に出てゐるが、將來は、支那に厚意を寄せる樣な事があつても、日本を援助する樣な事はない。

不穩な戰後

斯の如く今事變は、諸外國が支那を煽動して、日本を壓迫せんとする積極的、間接的運動が伴なつてゐる事は事實である。日支事變は解決されても、之等世界各國の不穩なる狀勢をみのがす事は出來ない。

國民の覺悟

斯くの如く戰勝戰敗兩國にとりても戰後の對策が如何に緊要且重大なるかは論を俟たない。政府も今事變の對策が重且大なるかを痛感して國民精神總動員のスローガンを掲げ、擧國一致の精神をうながし、之が對策に當る考を示した。我々國民は好く之が趣旨を體し事變中に於ける事は勿論、戰後に於ても協力一致、心を引きしめて、勞資共に和協し、階級的爭鬪を根絶して、外には思想的侵略に對抗せねばならぬ。

最好評

工業保健及能率
（戰時軍需品工場勞働者の保護及能率に關する調査）

菊判上製　三〇二頁
定價　金貳圓
送料　十四錢

現下時局重大なる秋、朝野は擧げて其の勞働對策に腐心しつゝある。本書は米國勞働統計局內大英國軍需品工場勞働者保健及福利狀態調査委員會の報告書所謂ニューマン委員會報告書五篇を譯出したもので、戰中英國軍需品工場に於て、勞働者の健康及能率につき精細なる研究を成し以て其の戰時勞働對策に寄與したものである。及疾病との關係、婦人勞働、勞働時間及交替、休業、日曜作業及夜間作業、損失時間及激働手段、休憩、食物及作業、健康障害、衛生法、通氣法、喫煙法、照明法、便所設備、洗面設備及更衣室、工場外の福利增進事業等の諸問題を取扱つてゐる重要參考文獻である。

最好評

非常時安全漫畫讀本

四六判、三色刷
十册　金五十錢
送料不要

本書は今や世界の耳目は東亞に集中され、國民擧げて緊張の時局に全國に亘り工場鑛山等に於て活動なされる從業員並に各事業主に銃後の守りを完からしむる目的を以て刊行せるものにして從業員並に事業主にとり必讀の好資料である。

近刊豫告

昭和十二年版　勞働年鑑

菊判全一册
約七二〇頁
定價參圓
送料二十一錢

昭和十一年度に於ける日本及海外二十餘國の勞働者農民運動及び經濟政治法制教育等の情勢動向の全貌を總觀し得る世界唯一の國際勞働年鑑

內容一般　昭和十一年我國産業勞働界概觀、社會行政、無産政黨運動、勞働組合運動、勞働爭議、國家主義運動、消費組合運動、農民運動、小作爭議、勞働者教育其他海外勞働運動、各國情勢等

發行所　東京府芝區芝公園六號地　振替東京五三七〇四番　協調會